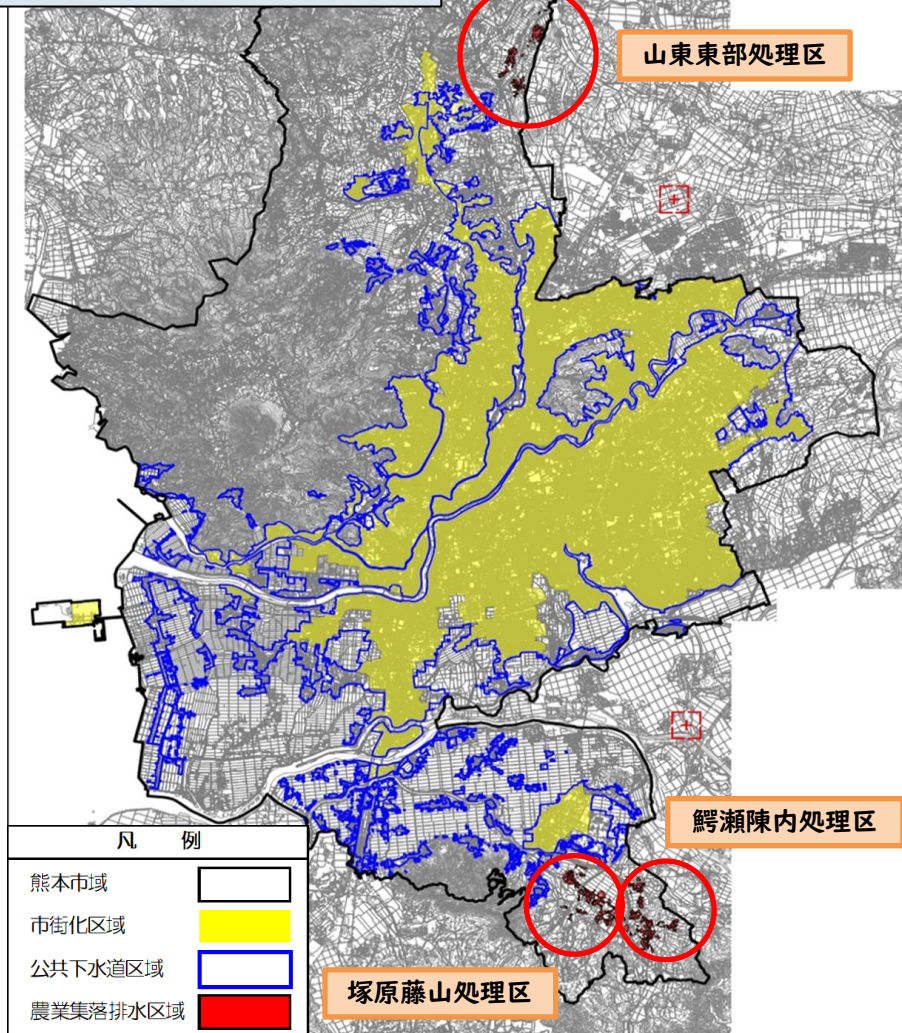




【概要】

農業集落排水施設とは農村部の汚水処理施設のこと。

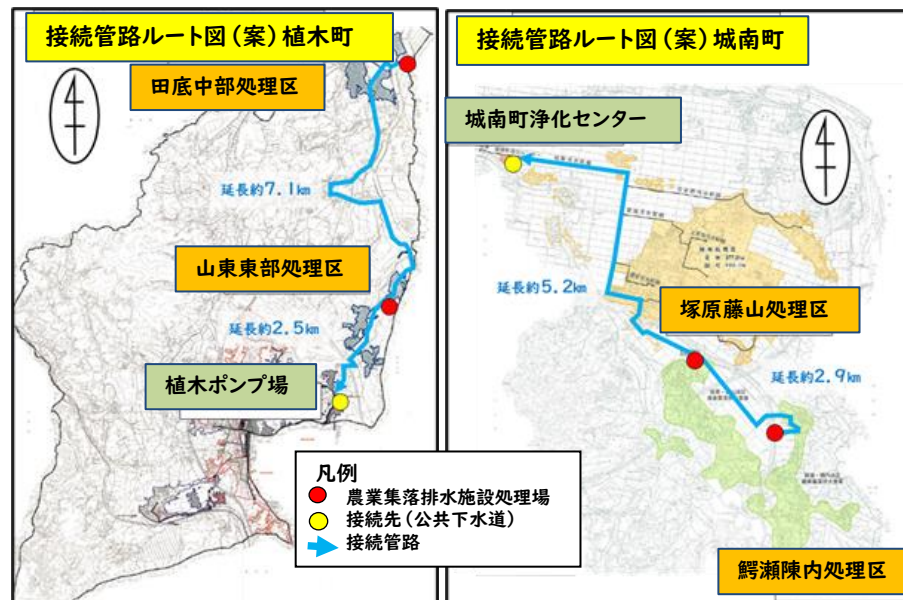
施設の老朽化、使用者の減少などの問題を抱えており、効率的な施設運営を目的として公共下水道へ統合を進めている。



本市の農業集落排水の概要

地区名	供用開始	施設概要			当初計画		
		処理形式	管路 (km)	中継ポンプ (箇所)	計画処理対象人口	計画汚水量	
						日平均 (m ³ /日)	時間最大 (m ³ /h)
田底中部	1997/11	JARUS-Ⅲ型	9.9	13	1,200	324	39
山東東部	2000/2	〃	10.8	11	960	259	31
塚原藤山	1999/4	JARUS-OD型	14.3	9	1,650	446	54
鰐瀬陳内	2003/4	〃	14.3	14	1,640	443	53
計			49.3	47	5,450	1472	177

公共下水道への接続管路ルート図 (案)



I 統合に向けた取組の概要

都市計画・事業計画の変更について

- ・令和4年3月6日～13日 住民説明会開催（計6回） ⇒ 都市計画に関する意見なし
 - ・令和4年7月5日 都市計画審議会で承認
 - ・令和4年8月5日 都市計画決定告示
-

- ・令和5年2月下旬（予定） 事業計画変更認可申請（都市計画法）

事業計画変更協議（下水道法）

- ・令和5年3月下旬（予定） 事業計画変更認可（都市計画法）

事業計画変更協議完了（下水道法）

接続管路の整備について

- ・公共下水道への接続管路の整備については、令和5年度から設計業務を実施予定

2 事業の変更点

①事業費の増加について

【接続管路の整備費用】

現時点で再算定を行ったところ、平成28年積算時点からの労務・資材単価の上昇（約3.7億）、設計内容の見直しによるルート変更（約1.5億）、週休2日制・熱中症対策（約2億）、今後の物価の上昇見込み（約4.8億）により接続管路の概算整備費用が増加

約18.6億円 ⇒ 約30.6億円（約12.0億円増加）

⇒ 事業効果について再検証したところ公共下水道統合が有利であることは変わらない

②事業スケジュールの変更について

接続管路の整備は、事業費の50%を下水道事業の国庫補助を活用し実施予定

・事業費の増加により、これまで予定していた令和8年供用開始スケジュールでは国費確保が難しいことから、供用開始目標を令和10年度へ事業スケジュールを変更し進める。（可能であれば、詳細設計の中で供用開始目標の前倒しを検討したい）

⇒ 供用開始目標が令和10年度になることでの市民への影響はない

令和8年供用開始スケジュール（当初）（案）

単位：億円

年度	R5	R6	R7	R8	事業費合計	(内訳)	
						国補助	市費
事業内容	基本設計 詳細設計 地質調査	接続工事	接続工事	供用開始			
当初事業費	3.5	7.6	7.5		18.6	9.3	9.3
変更事業費	3.5	13.5	13.6		30.6	9.3	21.3

令和10年供用開始スケジュール（変更後）（案）

単位：億円

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	事業費合計	(内訳)	
								国補助	市費
事業内容	基本設計 詳細設計 地質調査	詳細設計 地質調査 接続工事	接続工事	接続工事	接続工事	供用開始			
変更事業費	2.4	7.5	6.9	6.9	6.9		30.6	15.3	15.3

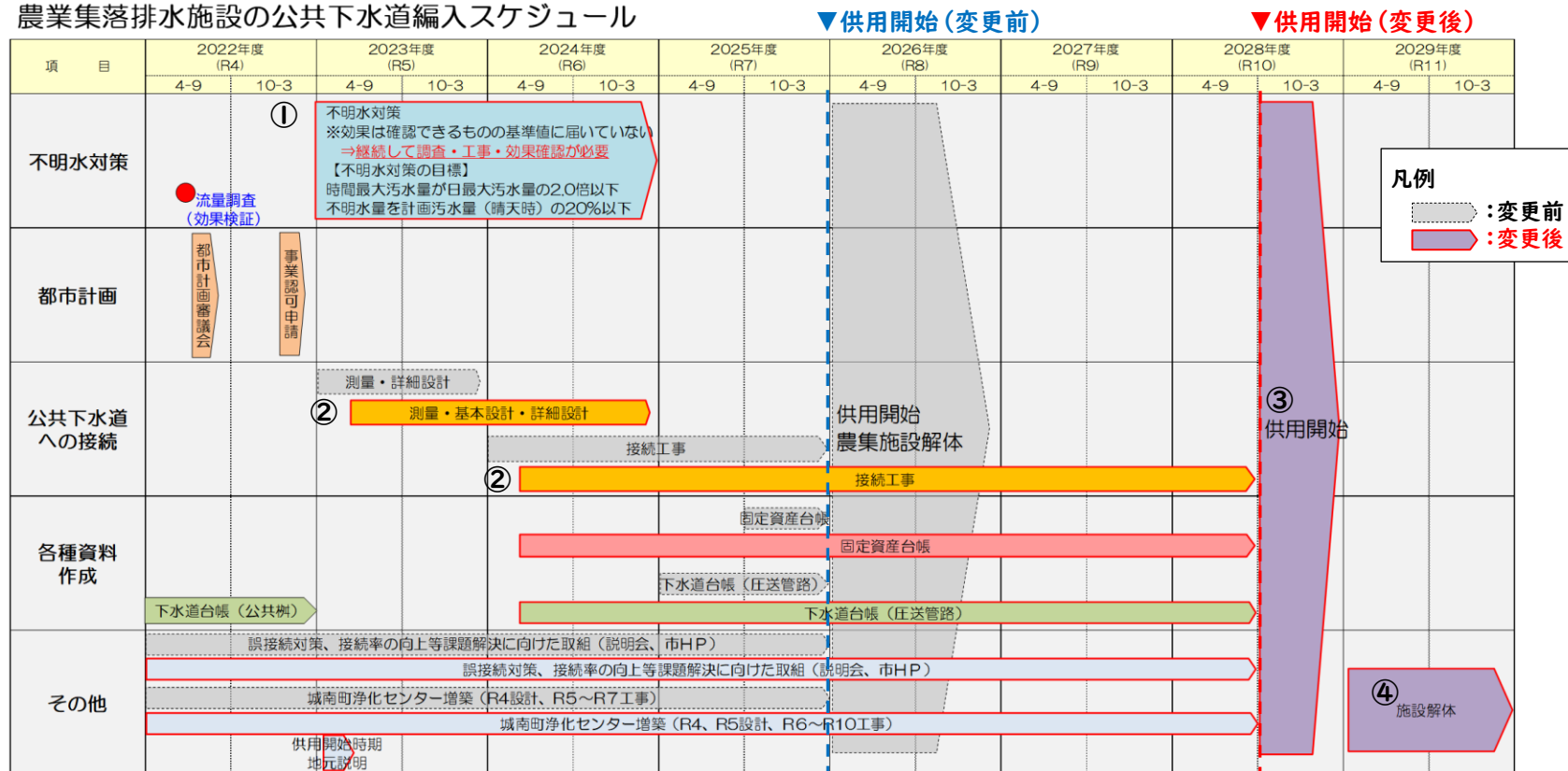
事業期間を変更することで
国費を最大限に活用可能

3 事業スケジュール

今後のスケジュール(案)

- ①令和5年度～令和6年度 不明水対策
- ②令和5年度～令和10年度 公共下水道への接続管路設計・工事
- ③令和10年度 供用開始(公共下水道統合)
- ④令和11年度 農業集落排水施設処理場解体

農業集落排水施設の公共下水道編入スケジュール



※不明水対策については目標値達成に向け、公共下水道への統合と並行して対策を進めていく。